

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2000-84129

(P2000-84129A)

(43)公開日 平成12年3月28日(2000.3.28)

(51)Int.Cl.

A 6 3 B 55/00

識別記号

F I

A 6 3 B 55/00

テマコード(参考)

B

審査請求 未請求 請求項の数16 OL (全 9 頁)

(21)出願番号 特願平11-251363

(22)出願日 平成11年9月6日(1999.9.6)

(31)優先権主張番号 1998-16889

(32)優先日 平成10年9月5日(1998.9.5)

(33)優先権主張国 韓国 (K R)

(31)優先権主張番号 1998-19057

(32)優先日 平成10年10月2日(1998.10.2)

(33)優先権主張国 韓国 (K R)

(71)出願人 592101459

メング ソープ

MAENG SEOP

大韓民国 キュンギード, パンダンーク,  
ジュンジャードン200, ジュンデウン ビ  
レッジ 104-601

(72)発明者 メング ソープ

大韓民国 キュンギード, パンダンーク,  
ジュンジャードン 200, ジュンデウン  
ビレッジ 104-601

(74)代理人 100079108

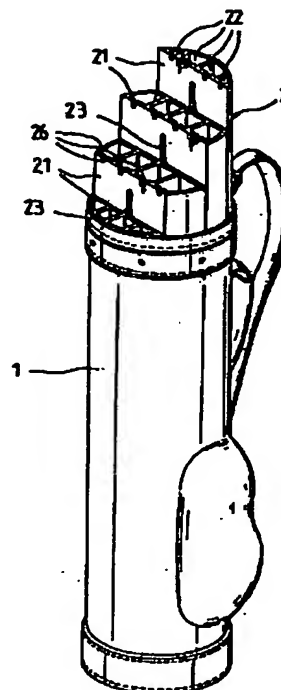
弁理士 稲葉 良幸 (外2名)

(54)【発明の名称】 可変式ゴルフバッグ

(57)【要約】

【課題】 長さの相違したゴルフクラブをクラブのヘッドとの接触及び衝突による損傷を防止し得る可変式ゴルフバッグを提供することである。

【解決手段】 ゴルフバッグ1の上部に設けられるゴルフクラブホルダ2を多数のホルダ分割体21から構成し、このホルダ分割体21を、ゴルフクラブの使用及び保管時に応じて、上部面が水平状態又は階段状態となるように構成し、この多数のホルダ分割体21は、クラブのシャフトを保護するための空間を確保するため、水平状態又は階段状態で、互いに離隔されるようにする。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 上側開口部に固定されるゴルフクラブホルダを含むゴルフバッグにおいて、前記ゴルフクラブホルダは、ゴルフクラブ収納穴が形成され、二つ以上に分割されたホルダ分割体から構成され、前記ホルダ分割体は乗降可能（昇降可能）に配置されることを特徴とする可変式ゴルフバッグ。

【請求項2】 前記多数のホルダ分割体は、固定部にそれぞれヒンジで結合されて、段階的に乗降（昇降）されることを特徴とする請求項1記載の可変式ゴルフバッグ。

【請求項3】 前記ゴルフクラブホルダの前記多数のホルダ分割体は、上昇したとき、階段形状に配置され、下降したとき、各上部面が水平状態に配置されることを特徴とする請求項2記載の可変式ゴルフバッグ。

【請求項4】 前記ゴルフクラブホルダのホルダ分割体は、水平状態にあるとき、互いに一定距離だけ離隔されることを特徴とする請求項3記載の可変式ゴルフバッグ。

【請求項5】 前記ゴルフバッグの上部は、上側開口部が拡張されるように、縦方向に切開された切開部が形成されることを特徴とする請求項1記載の可変式ゴルフバッグ。

【請求項6】 前記ゴルフバッグの上部の切開部には、この切開部が伸縮されるように、弾性連結手段が付着されることを特徴とする請求項5記載の可変式ゴルフバッグ。

【請求項7】 前記弾性連結手段はゴムバンドであることを特徴とする請求項6記載の可変式ゴルフバッグ。

【請求項8】 前記ホルダ分割体には離隔突条が形成されることを特徴とする請求項1記載の可変式ゴルフバッグ。

【請求項9】 前記ホルダ分割体には、縦方向に延長され、下方に開放された固定スリットが形成されることを特徴とする請求項1記載の可変式ゴルフバッグ。

【請求項10】 前記ゴルフバッグの上部には、前記ゴルフクラブホルダが乗降（昇降）し得るように、支持棒が形成されることを特徴とする請求項1記載の可変式ゴルフバッグ。

【請求項11】 前記ホルダ分割体の上部には、ゴルフクラブヘッドを固定する固定溝が形成されることを特徴とする請求項1記載の可変式ゴルフバッグ。

【請求項12】 前記ゴルフクラブのホルダ分割体は、階段状態にあるとき、互いに一定距離だけ離隔されることを特徴とする請求項3記載の可変式ゴルフバッグ。

【請求項13】 前記ホルダ分割体は、長方形に連続して配置されることを特徴とする請求項1記載の可変式ゴルフバッグ。

【請求項14】 前記ホルダ分割体は、テレスコープ方式に軸方向に伸縮する円筒形に形成されることを特徴と

する請求項1記載の可変式ゴルフバッグ。

【請求項15】 前記切開部は、伸縮可能な皺状を有することを特徴とする請求項5記載の可変式ゴルフバッグ。

【請求項16】 前記弾性連結手段は、スライドファスナーであることを特徴とする請求項6記載の可変式ゴルフバッグ。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、ゴルフクラブを収納し、ゴルフバッグの上部に固定されるゴルフクラブホルダが縦方向に多数に分割されて、それぞれ異なる高さに乗降（昇降）する可変式ゴルフバッグに関するもので、より詳しくは、ゴルフクラブの保管時は、ゴルフクラブが互いに衝突してゴルフクラブのシャフトが損傷することを防止するため、ゴルフクラブの長さの差に応じて、各ゴルフクラブを収納するゴルフクラブ収納部がそれぞれ異なる高さに位置するように形成され、使用時は、分割されたホルダ分割体の間が離隔されていることで、ゴルフクラブ同士の衝突を防止して、ゴルフクラブのシャフトの損傷を防止する可変式ゴルフバッグに関するものである。

## 【0002】

【従来の技術】現在まで使用されるゴルフバッグは、ゴルフするのに必要なゴルフクラブ、ゴルフボール及びその他の用品を収納して運搬し得るようにした構造であるだけで、外部の衝撃、又はゴルフクラブ同士の摩擦及び接触などによりゴルフクラブが損傷しないようにゴルフクラブを保護するための方法及び手段を考慮した構造ではなかった。

【0003】しかしながら、最近では、ゴルフクラブが高級化して、ゴルフクラブの損傷防止のための考慮が切実に台頭している。最近の研究によると、ゴルフクラブの損傷は、ゴルフクラブが外部の異物質と接触したり衝突したりして損傷するのでなく、使用者が競技中にゴルフバッグからゴルフクラブを入れるか取り出す過程で、ゴルフクラブ同士が衝突する頻度が高くなることにより主として発生することが明かにされた。このような競技者による使用中のゴルフクラブの損傷は、ゴルフクラブを収納するゴルフバッグの構造を改善せず、従来のものをそのまま踏襲することに起因すると思われる。すなわち、競技者がゴルフバッグにゴルフクラブを入れるか取り出す過程で、一ゴルフクラブのシャフトが他のゴルフクラブのヘッドとぶつかることによる損傷、あるいは、運搬中に短いゴルフクラブのヘッドが長いゴルフクラブのシャフトにぶつかることによる長いゴルフクラブのシャフトの損傷が頻繁に発生している。

【0004】このような現象は、各ゴルフクラブの長さが互いに異なることに起因するか、ゴルフバッグ内に保管されるとき、互いに重なることにより、損傷及び磨耗

などの問題が発生するものである。すなわち、図9に示すように、従来のゴルフバッグに多数のゴルフクラブを入れた状態で、ハンドルを持ち移動すると、通常、下部に位置するゴルフクラブのシャフト部は、上部に位置するゴルフクラブのフェースの内側に位置して配列することになる。したがって、ゴルフバッグを立ててからゴルフクラブを取り出す過程で、使用に際し充分に気をつけても一ゴルフクラブによる他のゴルフクラブのシャフトの損傷が発生する(図15に鎖線で示す)。ここで、各ゴルフクラブが互いに干渉しないように、互いに一定間隔を維持させるためには、例えば図16に示すように、3本のゴルフクラブを同一線上に整列させる場合、最小限14インチ内外の長さを必要とするが、現在使用されているゴルフバッグは、10インチ以下のものが使用されているためである。ゴルフバッグにゴルフクラブを入れた後、ゴルフクラブを取り出さず保管及び移動する過程のみを考慮すると、図10に示すように、ゴルフクラブを高さ順に配列させると、7インチ以下の直径のゴルフバッグにも損傷なしに保管することができる。

【0005】このような問題点を解決するため、ゴルフクラブのシャフトを保護するための手段としては、各ゴルフクラブごとにヘッドカバーを被せて使用しているが、実際に使用するときには、各ゴルフクラブごとにヘッドカバーを被せるか抜かせる作業が非常にややこしく、ヘッドカバーを被せたとしても、ゴルフクラブを入れる瞬間、他のゴルフクラブのヘッドに被せられたヘッドカバーを上方に押し上げながらシャフトを損傷させるため、このような方法もゴルフクラブのシャフトを安全に保護することができないという問題点があった。

【0006】

【発明が解決しようとする課題】本発明はこのような問題点を解決するためのもので、その目的は、互いに異なる長さを有するゴルフクラブの長さの差に応じて、各ゴルフクラブを収納するゴルフクラブホルダを多数のホルダ分割体に分割し、各ホルダ分割体を互いに異なる高さに配置することにより、ゴルフクラブの使用又は保管時、ゴルフクラブの相互衝突によるゴルフクラブのシャフトの損傷を防止するためのゴルフバッグを提供することである。

【0007】本発明の他の目的は、各ゴルフクラブホルダのホルダ分割体の間の距離を可変化して、ゴルフクラブを頻繁に交替使用する場合は、ゴルフクラブ同士衝突しないようにホルダ分割体の間の距離を大きくし、保管時は、ゴルフクラブ同士衝突しないようにホルダ分割体の高さを互いに異ならせて保管を便利にしたゴルフバッグを提供することである。

【0008】本発明の更に他の目的は、低廉な費用で他のゴルフバッグにも設置することができるゴルフクラブホルダを提供することである。

【0009】

【課題を解決するための手段】本発明の前記目的は、ゴルフバッグの上側開口部に固定され、多数に分割されたホルダ分割体が相違した高さに可変して乗降(昇降)するゴルフクラブホルダを備える本発明による可変式ゴルフバッグにより達成される。

【0010】具体的には、上側開口部に固定されるゴルフクラブホルダを含むゴルフバッグにおいて、前記ゴルフクラブホルダは、ゴルフクラブ収納穴が形成され、二つ以上に分割されたホルダ分割体から構成され、前記ホルダ分割体は乗降可能(昇降可能)に配置されることを特徴とする可変式ゴルフバッグを提供するものである。

【0011】また、前記多数のホルダ分割体は、固定部にそれぞれヒンジで結合されて、段階的に乗降(昇降)されることができる。

【0012】前記ゴルフクラブホルダの前記多数のホルダ分割体は、上昇したとき、階段形状に配置され、下降したとき、各上部面が水平状態に配置されることができる。

【0013】そしてまた、前記ゴルフクラブホルダのホルダ分割体は、水平状態にあるとき、互いに一定距離だけ離隔されることもできる。

【0014】前記ゴルフバッグの上部には、上側開口部が拡張されるように、縦方向に切開された切開部を形成することもできる。

【0015】前記ゴルフバッグの上部の切開部には、この切開部が伸縮されるように、弾性連結手段が付着されることもできる。

【0016】前記弾性連結手段は、ゴムバンドから構成することもできる。また、前記ホルダ分割体には、離隔突条を形成することもできる。

【0017】前記ホルダ分割体には、縦方向に延長され、下方に開放された固定スリットが形成されることもできる。

【0018】前記ゴルフバッグの上部には、前記ゴルフクラブホルダが乗降(昇降)し得るように、支持棒が形成されることもできる。

【0019】前記ホルダ分割体の上部には、ゴルフクラブヘッドを固定する固定溝が形成されることもできる。

【0020】前記ゴルフクラブのホルダ分割体は、階段状態にあるとき、互いに一定距離だけ離隔されることができる。

【0021】前記ホルダ分割体は、長方形に連続して配置されることもできる。また、前記ホルダ分割体は、テレスコープ方式に軸方向に伸縮する円筒形に形成されることもできる。

【0022】前記切開部は、伸縮可能な皺状を有することができる。

【0023】そしてまた、前記弾性連結手段は、スライドファスナーで構成することもできる。

【0024】

【発明の実施の形態】以下、本発明による可変式ゴルフバッグを添付図面に基いて詳細に説明する。

【0025】本発明の第1実施例による可変式ゴルフバッグは、図1乃至図3に示すように、ゴルフバッグ1の上側開口部にゴルフクラブホルダ2が設けられている。前記ゴルフクラブホルダ2は、4つの独立したホルダ分割体21から構成され、各ホルダ分割体21は、互いに相違した長を有し、順次配置されている。

【0026】本実施例において、前記各ホルダ分割体21には、4つの収納穴22が形成されているが、1つ又は2つの収納穴を形成することもでき、前記各ホルダ分割体21には、一定高さで下方に開放された固定スリット23が割設されている。前記固定スリット23の長さに応じて相違するように形成される。前記ホルダ分割体21の下部には、係合突部24及び係合溝25が形成されている。前記ホルダ分割体21の上部には、前記各収納穴22ごとに収納されたゴルフクラブの遊動を防止するため、固定溝26が形成されている。前記ゴルフバッグ1の上側開口部には支持棒11が固定されている。

【0027】このような構成を有する本発明の第1実施例による可変式ゴルフバッグは、図2b又は図3bに示すように、ゴルフクラブホルダ2の各ホルダ分割体21の上部面が同一平面上に位置する水平状態で、ゴルフクラブをゴルフバッグ内の各収納穴22内に収納して保管又は使用しながらゴルフクラブをより確実に保護しようとする場合、ゴルフクラブホルダ2の各ホルダ分割体21を上方に引き寄せると、最右側のホルダ分割体21は支持棒11又はゴルフバッグ1の上部に固定されているので、動けないが、他のホルダ分割体21は固定スリット23に沿って上方に移動して、隣接ホルダ分割体21の係合溝25に係合突部24に係合される位置まで上昇する。したがって、各ホルダ分割体21は、図1、図2a及び図3aに示すように、それぞれ相違した高さの階段式に配置されるので、互いに相違した高さに配置されたホルダ分割体21に収納されたゴルフクラブと他のゴルフクラブとの衝突が防止されるので、各ゴルフクラブのシャフトは他のゴルフクラブのヘッドと衝突せず、損傷なしに安全に保護され、ゴルフクラブヘッドの底面が固定溝26内に挿入されるので、各ゴルフクラブは固定溝により遊動なく安全に保護される。このように、ホルダ分割体が上昇して階段式に形成されたゴルフクラブホルダを再び下方に押し下げると、各ホルダ21は下方に移動して、各固定スリット23の上端が、支持棒11に接する水平位置に配置されるもので、ゴルフクラブホルダの位置を容易に変更し得る構造である。

【0028】本発明の第2実施例によるゴルフバッグは、図4ないし図6に示すように、ゴルフバッグ10の上側開口部にゴルフクラブホルダ30が設けられている。前記ゴルフバッグ10は、前記上側開口部の大きさが変化し得るよう、多数部が切開されており、前記多数

の切開面にはゴムバンドのような弾性連結手段15が付着されているので、上側開口部が広がる場合は、弾性連結手段15が伸びるとともにゴルフバッグ10の上側開口部が切開され、上側開口部が狭くなる場合は、弾性連結手段15が収縮して切開部を連結し、上側開口部が狭くなって固定されることにより、上側開口部は広がるか狭くなる可変状態を有することになる。前記ゴルフクラブホルダ30は、4つの独立したホルダ分割体31に分割される。本実施例において、前記各ホルダ分割体31は、4つの収納穴32が形成されているが、1つ又は2つ以上が形成されることもできるのはもちろんである。前記各ホルダ分割体31には、上部から下方に延長されて開放される固定スリット33が割設されている。前記ホルダ分割体31は、階段式に配置し得るように、互いに異なる長さに形成されている。前記各々の独立したホルダ分割体31は、固定スリット33内に挿入される固定部40にそれぞれヒンジで連結されている。前記ホルダ分割体31の固定部40に固定される。前記ホルダ分割体31は、固定部40が水平状態にあるとき、ホルダ分割体31の間の距離が一定離隔距離(L1)を有し、固定部40が斜めに維持されるときは、ホルダ分割体31の間の離隔距離L1が発生しないように、固定部40に固定される。前記ホルダ分割体31の固定スリット33内には、両端のホルダ分割体31を内側に引っ張るスプリング34が設けられる。前記ホルダ分割体31のうち、ゴルフバッグに接する一側ホルダ分割体31は、乗降動作(昇降動作)はするが分離されないように、ゴルフバッグに固定されている。

【0029】このような構成を有する本発明の第2実施例によるゴルフバッグは、ゴルフバッグを使用せずゴルフバッグ内にゴルフクラブを保管する場合、ゴルフクラブホルダ30の取っ手H側のホルダ分割体31を上方に取り出すと、各ホルダ分割体31は固定部40にヒンジで連結されているので、各ホルダ分割体31は順次上昇しながら階段式に配置され(図5a及び図6aに示す)、各ホルダ分割体31の一定高さに上昇した部分が保護壁の役を務めることにより、各ホルダ分割体31の収納穴32内に収納されるゴルフクラブは、他のホルダ分割体に収納されるゴルフクラブのシャフトとぶつかるか、ヘッドによりシャフトが損傷することが防止される。この状態で、ゴルフバッグをフィールドで使用しようとする場合、上昇したホルダ分割体31を押し下げると、ホルダ分割体31が下方に移動するとともにゴルフバッグ10の上部の連結手段15の連結部が徐々に伸張され、同時に、各ホルダ分割体31が互いに徐々に分離して、各ホルダ分割体31の上部面が水平をなす図5b及び図6bの水平状態に到達すると、各ホルダ分割体は離隔距離L1だけ離隔されているので、ホルダ分割体31の間の離隔距離L1だけ、収納されたゴルフクラブの間隔が大きくなり、これにより、ゴルフクラブの収納及

び引出時、ゴルフクラブの衝突及び干渉が防止される。この離隔距離L1は、ホルダ分割体31がヒンジ連結される固定部40の傾斜角度により、広く又は狭く調節することができる。また、両端のホルダ分割体31は、スプリング34により内側に引張状態にあるので、水平状態にあるとき、ホルダ分割体は離隔距離が縮小するように内側に圧縮力を受ける。この状態でゴルフバッグ使用してから、図5aに示す階段状態に変更させようとする場合、ホルダ分割体31を上方に取り出すと、ホルダ分割体31が順次上昇し、この上昇作用はスプリング34によりもっと円滑になされる。

【0030】本発明の第3実施例によるゴルフバッグは、図7及び図8に示すように、ゴルフバッグ10の上側開口部にゴルフクラブホルダ50が設けられている。前記ゴルフバッグ10は、前記開口部の大きさが変化し得るように、切開されており、この切開部には、連結手段15としてスライドファスナーが設けられている。前記ゴルフクラブホルダ50は、4つの分割されたホルダ分割体51から構成される。前記ホルダ分割体51のうち、切開部側のホルダ分割体51は、ゴルフバッグ10に固定され、他の3つのホルダ分割体51は、乗降可能（昇降可能）に結合されている。前記乗降可能なホルダ分割体51は、上端一側面に離隔突条52が形成されたものを除き、その他の部分は、第2実施例に記述したゴルフクラブホルダと同一の構成を有するので、これに対する説明は省略する。

【0031】このような本発明の第3実施例によるゴルフバッグは、ゴルフバッグの保管時、図7に示すように、ホルダ分割体51が順次上昇した階段式に配置されるので、他のゴルフクラブとぶつかってゴルフクラブのシャフトが損傷する憂いがなく、ゴルフクラブを使用しようとする場合は、上昇したホルダ分割体51を下降させて、各ホルダ分割体の上部面を図8に示す水平状態に配置させると、各ホルダ分割体は離隔突条52の突出距離L2だけ離隔されるので、収納されたゴルフクラブの間の間隔が離隔距離だけ十分に大きくなって、ゴルフクラブの収納及び引出時、ゴルフクラブの衝突及び干渉が防止される。

【0032】本発明の第4実施例による可変式ゴルフバッグは、図9及び図10に示すように、ゴルフバッグ本体300の上部にゴルフクラブホルダ100が設けられている。前記ゴルフクラブホルダは、4つの独立したホルダ分割体120からなる。前記各ホルダ分割体120には、4つの収納穴121が形成され、前記各ホルダ分割体の収納穴121は、互いに異なる高さを有するように、4段の形状に形成された側面保護段部122が形成されている。前記隣接した側面保護段部122の高さの差は、0.5インチ程度が好ましい。前記各ホルダ分割体120は、作動レバー130にそれぞれヒンジ部h1、h2、h3、h4で結合されている。前記作動レバ

ー130は、図面において左側に下向きに配置され、その可動端部131は、ゴルフバッグ本体300の外部に突出されて、乗降取手（昇降取手）として使用される。

【0033】このような構成を有する本発明の第4実施例による可変式ゴルフバッグは、ゴルフクラブ同士の衝突の憂いがない保管時は、各ホルダ分割体120が、図9に示すように、互いに同一の高さに配置される。ゴルフクラブの出入が頻繁になって、ゴルフクラブの衝突によるシャフトの損傷の憂いがあるフィールドでの使用時は、ゴルフクラブのシャフトの損傷を防止するため、作動レバー130の可動端部131を持ち上げると、作動レバー130はヒンジ部h1を中心に回転するとともに、作動レバーにヒンジで軸設されたホルダ分割体120も上昇移動する。各ホルダ分割体120は、図10に示すように、ヒンジ部h1に対すヒンジ部h2、h3、h4の高さの差だけ上昇するので、可動端部131に近接するほどに、ホルダ分割体120は高く上昇することになる。また、このように、作動レバー130が上昇すると、隣接したホルダ分割体120の間には離隔距離L2が形成されるので、収納されたゴルフクラブの間隔が大きくなる。このように、各ホルダ分割体120の上昇が完了すると、作動レバー130を固定溝132に固定させることにより、ゴルフクラブホルダ100が階段状態に配置される。したがって、互いに独立したホルダ分割体120は、それぞれ相違した上昇高さを有するので、ホルダ分割体120は階段式に配置され、隣接したホルダ分割体120は上昇高さの差だけの保護段部123が形成される。これにより、各ホルダ分割体に収納されたゴルフクラブのシャフトの最上部が、ホルダ分割体120の保護段部123の高さとほぼ同一に収納穴121内に位置するので、保護段部123により、他のホルダ分割体のゴルフクラブとの衝突が防止され、各ホルダ分割体120内のゴルフクラブは側面保護段部122により保護されるので、各ゴルフクラブのシャフトは他のゴルフクラブのヘッドと衝突せず、損傷なしに安全に保護される。

【0034】本発明の第5実施例によるゴルフバッグは、図11ないし図13に示すように、ゴルフバッグ本体250の上部にゴルフクラブホルダ200が固定される。前記ゴルフクラブホルダ200は、軸方向に伸縮する3つのテレスコープ方式の円筒形ホルダ分割体220、220'、220''から構成される。外側のホルダ分割体220は、ゴルフバッグ本体250の上部に固定され、その中央には挿入穴221が形成され、円周方向に八つの収納穴222が形成される。中間のホルダ分割体220'は、前記外側ホルダ分割体220の挿入穴221内に摺動可能に挿入され、その中央には挿入穴221'が形成され、円周方向に4つの収納穴222'が形成されている。前記中間ホルダ分割体220'の下端に

は、前記外側ホルダ分割体の底面と接する係止段部223'が外側に突設され、前記外側ホルダ分割体220より保護段部225'に相当する長さだけ延長される。内側ホルダ分割体220"は、前記中間ホルダ分割体220'の挿入穴221'内に摺動可能に挿入され、二つの収納穴222"が形成されている。前記内側ホルダ分割体220"の下端には、前記中間ホルダ分割体220'の底面と接する係止段部223"が外側に突設され、前記中間ホルダ分割体220'より保護段部225"に相当する長さだけ延長され、上端には引出取っ手224"が設けられている。

【0035】このような構成を有する本発明の第5実施例によるゴルフバッグは、ゴルフクラブ同士の衝突の憂いがない保管時は、各ホルダ分割体220、220'、220"の上端が、図11に示すように、同一の高さに配置される。一方、ゴルフクラブの出入が頻繁になって、ゴルフクラブの衝突によるシャフトの損傷の憂いがあるフィールドで使用する時は、ゴルフクラブのシャフトの損傷を防止するため、内側ホルダ分割体220"の引出取っ手224"を引き出すと、まず、内側ホルダ分割体220"が保護段部の長さだけ引き出された後、中間ホルダ分割体220'が保護段部の長さだけ引き出されて、図12に示すように、ホルダ分割体220、220'、220"が上昇展開状態となる。したがって、相違した高さに上昇したホルダ分割体220'、220"は、それぞれ相違した上昇高さを有するので、ホルダ分割体は階段形状に配置され、隣接したホルダ分割体220'、220"は相違した上昇高さの差だけ保護段部225'、225"が形成される。よって、各ホルダ分割体に収納されたゴルフクラブのシャフトの最上部は、ホルダ分割体220、220'、220"の保護段部225'、225"の高さとほぼ同一の高さに収納穴222、222'、222"内に位置するので、保護段部225'、225"により他のホルダ分割体内のゴルフクラブとの衝突が防止される。使用後、内側ホルダ分割体を押し込むと、上昇したホルダ分割体は元の位置に復帰するので、ゴルフバッグの体積が減少することになる。

【0036】

【発明の効果】以上説明したように、本発明による可変式ゴルフバッグは、ゴルフクラブを収納し、ゴルフバッグの上部に固定されるゴルフクラブホルダが縦方向に多数に分割されたホルダ分割体が互いに相違した高さに順次上昇し、下降時には、ゴルフクラブの干渉が発生しないように、十分な離隔距離を確保する構造を有するので、ゴルフクラブの保管時、ゴルフクラブが相互衝突して、クラブのシャフトが損傷することを防止するように、各ホルダ分割体が階段形状に配置され、使用時は、ホルダ分割体が互いに離隔されて、ゴルフクラブ同士の衝突が防止されるので、ゴルフクラブを安全に保護し得る優秀な効果を有する。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の第1実施例による可変式ゴルフバッグの斜視図である。

【図2a】本発明の第1実施例によるゴルフバッグのホルダ分割体が上昇した状態を示す斜視図である。

【図2b】本発明の第1実施例によるゴルフバッグのホルダ分割体が下降した状態を示す斜視図である。

【図3a】図2aのA-A線について取った概略断面図である。

【図3b】図2bのA-A線について取った概略断面図である。

【図4】本発明の第2実施例による可変式ゴルフバッグの斜視図である。

【図5a】本発明の第2実施例によるゴルフバッグのホルダ分割体が上昇した状態を示す斜視図である。

【図5b】本発明の第2実施例によるゴルフバッグのホルダ分割体が下降した状態を示す斜視図である。

【図6a】図5aのC-C線について取った概略断面図である。

【図6b】図5bのD-D線について取った概略断面図である。

【図7】本発明の第3実施例による可変式ゴルフバッグのホルダ分割体が上昇した状態を示す斜視図である。

【図8】本発明の第3実施例による可変式ゴルフバッグのホルダ分割体が下降した状態を示す斜視図である。

【図9】本発明の第4実施例による可変式ゴルフバッグのホルダ分割体が下降した状態を示す部分断面斜視図である。

【図10】本発明の第4実施例による可変式ゴルフバッグのホルダ分割体が上昇した状態を示す部分断面斜視図である。

【図11】本発明の第5実施例による可変式ゴルフバッグのホルダ分割体が下降した状態を示す斜視図である。

【図12】本発明の第5実施例による可変式ゴルフバッグのホルダ分割体が上昇した状態を示す斜視図である。

【図13】図11のI-I線について取った断面図である。

【図14】従来のゴルフバッグの運搬時、ゴルフクラブの整列状態を示す斜視図である。

【図15】従来のゴルフクラブのゴルフバッグ内のゴルフクラブの整列状態を示す概略図である。

【図16】ゴルフクラブの好ましい整列状態を示す概略断面図である。

【符号の説明】

- 1 ゴルフバッグ
- 2 ゴルフクラブホルダ
- 10 ゴルフバッグ
- 11 支持棒
- 15 弾性連結手段
- 21 ホルダ分割体

11

12

- 22 収納穴
- 23 固定スリット
- 24 係合突部
- 25 係合溝
- 26 固定溝
- 30 ゴルフクラブホルダ
- 31 ホルダ分割体
- 32 収納穴
- 33 固定スリット
- 34 スプリング
- 40 固定部
- 50 ゴルフクラブホルダ
- 51 ホルダ分割体
- 52 離隔突条
- 100 ホルダ分割体

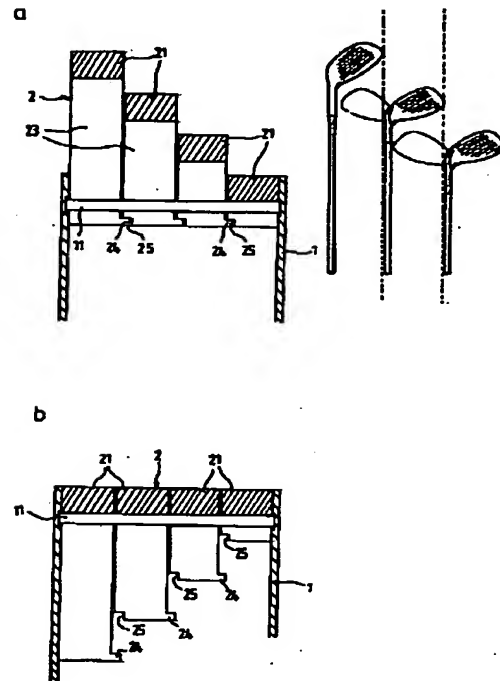
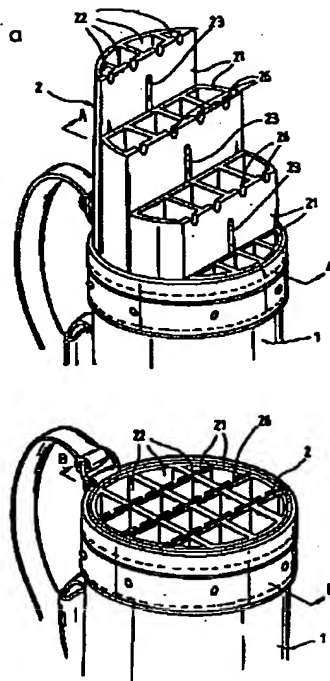
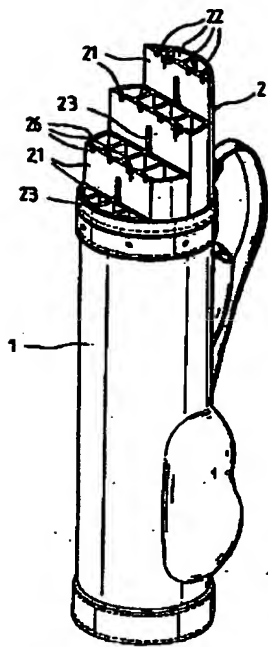
- 120 ホルダ分割体
- 121 収納穴
- 122 側面保護段部
- 130 作動レバー
- 131 可動端部
- 200 ゴルフクラブホルダ
- 220、220'、220" ホルダ分割体
- 221 挿入穴
- 222、222'、222" 収納穴
- 10 223' 係止段部
- 224" 引出取っ手
- 225' 保護段部
- 250 ゴルフバッグ本体
- 300 ゴルフバッグ本体

【図1】

【図2】

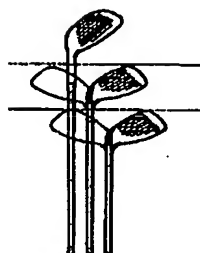
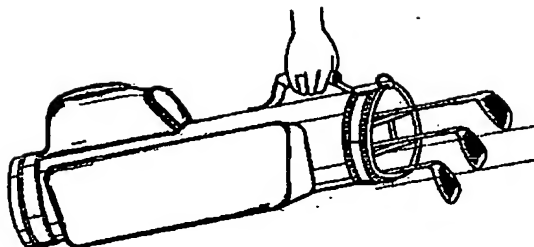
【図3】

【図16】



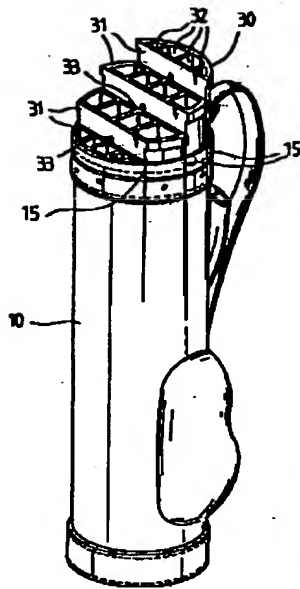
【図14】

【図15】

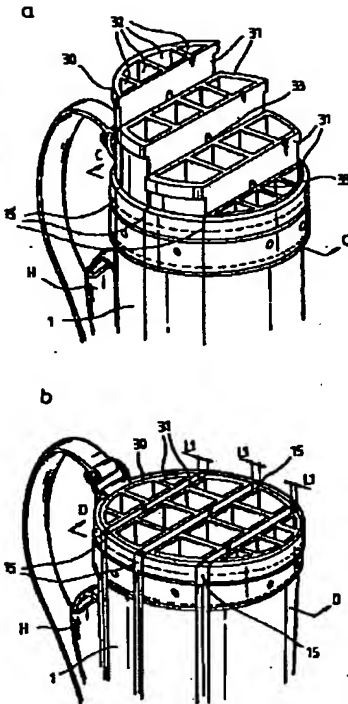




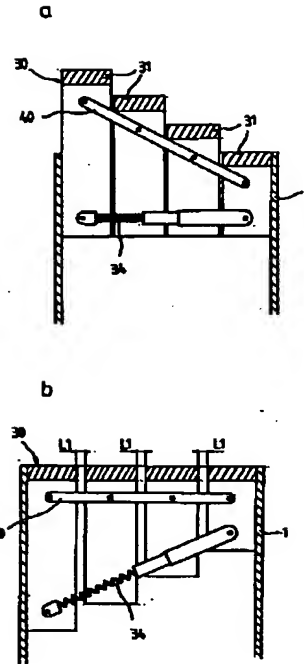
【図4】



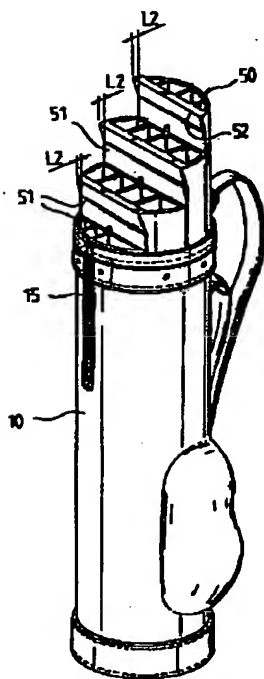
【図5】



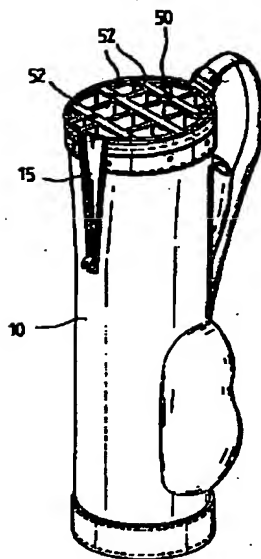
【図6】



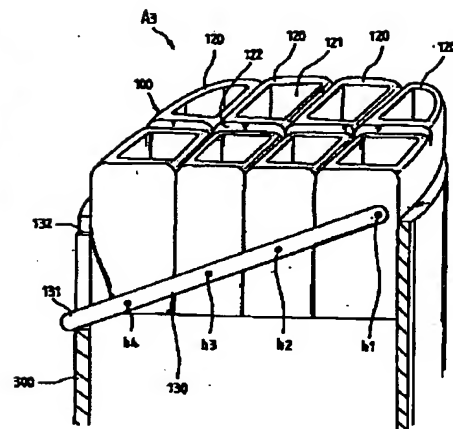
【図7】



【図8】

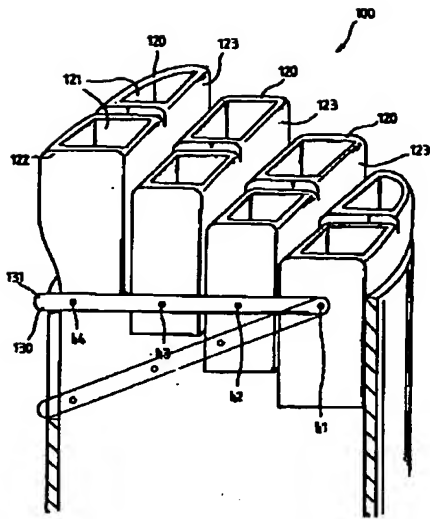


【図9】

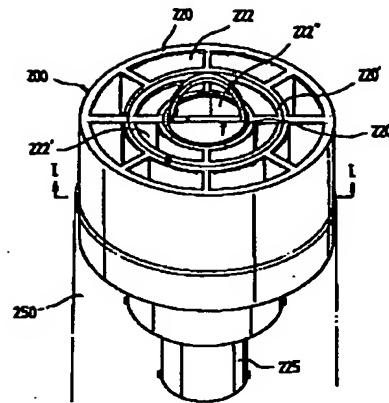




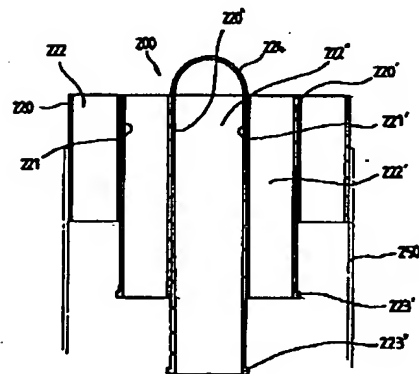
【図10】



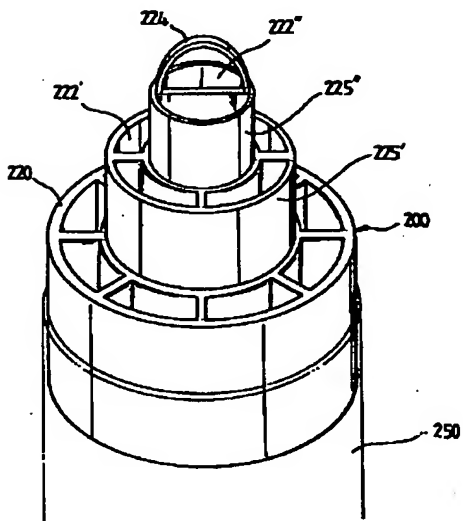
【図11】



【図13】



【図12】



PAT-NO: JP02000084129A  
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 2000084129 A  
TITLE: VARIABLE GOLF BAG

PUBN-DATE: March 28, 2000

INVENTOR-INFORMATION:

NAME COUNTRY  
MAENG, SEOP N/A

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME COUNTRY  
MAENG SEOP N/A

APPL-NO: JP11251363

APPL-DATE: September 6, 1999

PRIORITY-DATA: 989816889 (September 5, 1998) , 989819057 (October 2, 1998)

INT-CL (IPC): A63B055/00

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a variable golf bag which can prevent golf clubs with different lengths from being damaged by the contact or collision with other club heads.

SOLUTION: A golf club holder 2 formed at the top of this golf bag 1 consists of a number of holder divided pieces 21. The tops of the holder divided pieces 21 can be leveled or formed as steps according to whether the golf clubs are used or stored. The holder divided pieces 21 can be separated from each other in the level condition or in the step condition in order to secure space for protecting shafts of the golf clubs.

COPYRIGHT: (C) 2000, JPO